

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者会見資料④

令和元年 10 月 30 日

企画部企画政策課

担 当：菅原

連絡先：022-358-0517

第 7 回プラチナ大賞 最終審査発表会・表彰式について

本市が「とみやからはじまる未来の暮らし」をテーマに掲げ、低炭素社会実現を目指し進めている水素エネルギープロジェクト事業を、プラチナ構想ネットワーク（下記参照）が実施するプラチナ大賞にエントリーしたところ、この度、全国の他の 13 事例のひとつとして最終審査に臨むこととなりました。

最終審査の 13 団体は、すでにプラチナ賞を受賞することとなり、本市もプラチナシティとしての認定を当日受賞する予定です。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひ、この地球環境に寄与する低炭素社会実現、水素社会実現に向けたチャレンジについて、事前告知や取材をしていただきますようお願いいたします。

記

1. 日 時 11 月 5 日(火) 13:15～
2. 会 場 イイノホール（東京都千代田区内幸町 2-1-1）
3. 主 催 プラチナ大賞運営委員会事務局（委員長：増田寛也）
プラチナ構想ネットワーク（会長：小宮山宏）
4. 後 援 総務省、経済産業省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、
特別区長会

プラチナ構想ネットワーク…東京大学第 28 代総長の小宮山宏氏が会長を務める任意団体。エコで高齢者も参加でき、地域で人が育ち、雇用のある快適な社会づくりを進める全国規模の連携組織。プラチナ社会実現のための政策的課題の解決策を政界、産業界、市民に広く発信し、行動を促すことを目的としている。設立は、2010 年 8 月。